

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回弘前市社会福祉問題対策協議会
開 催 年 月 日	令和5年11月20日(月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分から15時00分まで
開 催 場 所	弘前市役所 前川新館6階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	中村 直樹
出 席 者	会長 中村直樹、委員 小川幸裕、委員 大湯恵津子 委員 藤田俊彦、委員 阿保博実、委員 八木橋喜代治 委員 稲村孝司、委員 森山正、委員 小林雅也 委員 岩田安弘、委員 齋藤ひろみ
欠 席 者	委員 坂本祥一、委員 崎野雅生、委員 三上美知子
事 務 局 職 員 の 氏 名	福祉部長 秋元 哲 福祉総務課長 秋田 美織 同課長補佐 金川 浩人 同総括主査 工藤 和子 同社会福祉主事 石郷岡 裕哉
会 議 の 議 題	・弘前市地域福祉計画の進捗状況について ・災害時避難行動要支援者、個別避難計画作成について
会 議 結 果	別紙会議録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	・令和5年度第1回弘前市社会福祉問題対策協議会資料

<p>会議内容 (概要)</p>	<p>1. 開会 2. 会長挨拶 3. 案件 (1) 弘前市地域福祉計画の進捗状況について</p>
<p>事務局</p>	<p>案件(1)資料に基づき、第一期計画の総括について報告。</p>
<p>小林委員</p>	<p>【主な質疑応答】 ◎基本目標1について ・評価について情報のアクセシビリティに関する取り組みが行われているが、アクセスするための市民、障がい者のリテラシーをある程度高めていかなければいけない、具体的な取り組みがあればお話しいただきたい。 ・障がい者の方でも普通にスマホやタブレットを使用する、そういった情報にアクセスするツールの講習会を設けることによって、評価方法を定着することができる。</p>
<p>小川委員</p>	<p>・基本目標1において社会全体を指すということは、公助を指すわけではなく、公助で対応出来ない方々を地域福祉という補助を中心としたインフォーマルな資源で支えていくという読み方でよろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおり。</p>
<p>小川委員</p>	<p>・生活保護を受給しなかった割合のところは、生活困窮者の支援を説明しているので、弘前市で行われている生活困窮者自立支援事業を指していることになる、そのような補足がないと読み取りが難しい。 ・生活保護に至らなかったという表記と受給しなかったという表記があるのはどうなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・委員の方から様々な意見を頂戴し、修正したため表記が異なっている、その他不足部分があるところについては追記する必要があると思う。</p>
<p>小林委員</p>	<p>◎基本目標2について ・市民参加型まちづくり1%システム支援事業における採択数について、事業の中身が様々なカテゴリー化されていると思うが、福祉に関わる部分について件数を教えてもらいたい。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の中身について資料を持ち合わせていなかったため、次の機会に具体的にお示ししたい。</li> </ul>
小林委員	<p>◎基本目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設職員の方に市民後見人研修を受けてもらうというような動きが他県で出てきている、市民以外にもそれぞれの施設職員にアプローチしていくことで増えるのではないかと。</li> </ul>
小川委員	<p>◎基本目標4について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の中身を変えず意見を集約する形なのか、それともこういった項目もいいのかという項目について追加されたりするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二期の計画としてはまとまったものとなる。ただ実施していく事業等については見直しが可能である。</li> <li>・いただいた意見をもっと細かく事業に反映させていくという考えでいる。</li> </ul>
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいのは評価指標と基本目標の整合性だと思う。</li> <li>・上位計画の弘前市総合計画の項目で近いものを引っ張って評価をしているという説明はしておいた方がいいのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標というものを総合計画の評価の中でも取り扱っていない部分があり、それを数値化しようとするれば限界がある。</li> <li>・活動指標と成果指標があり、成果指標が必要となるが、活動指標にとどまっているものもある。</li> <li>・総合計画や分野別の各計画の指標の中から、最適なものを抜粋して掲載しているという形になっている。</li> </ul>
森山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指数と評価に係る成果・課題等にずれがあるように感じる。</li> </ul>
藤田委員	<p>◎全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標4に子どもや子育てをする人と記載があるが、内容には子ども、子育てというところに該当する部分がない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画は子どもを含め障がい、高齢者、生活困窮者等に関わる福祉、すべてを包含した計画となる。</li> <li>・各分野については、それぞれ計画分野別の計画を持ってお</li> </ul>

	<p>り、子どもに関する施策等については子ども・子育て支援事業計画に掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画については、それらを包含した福祉に関わる全体的な方向性を示した計画として見ていただきたい。</li> </ul>
藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的なサービスの中に、子ども、子育てする人という部分が含まれてくると思うが、実際評価した際、ここに集約されているという記載があってもいいのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の総合計画を上位計画とし各分野別の計画が策定されているところで、位置付けが分かりづらかったところがあったかと思う。</li> </ul>
岩田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標に記載しているのであれば、評価指標でも触れてくれればいい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の記載を中間時点で変えることができるかを含め検討する。</li> <li>・評価指数に関しては、総合計画アンケート結果を抜粋している。評価に直接結びつく質問があればいいが難しく、目標に関連した結果が記載されている。</li> <li>・アバウトでもお伝えできればと思うので検討したい。</li> </ul>
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標が目標と合致していない印象が残る。理由として総合計画の評価指標を用いているという補足が必要ではないか。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>(2)災害時避難行動要支援者、個別避難計画作成について</b></p>
事務局	<p>案件(2)資料に基づき説明。</p>
大湯委員	<p><b>【主な質疑応答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画について登録する人が少なくなっており、支援者を民生委員にしているのが現状である。</li> <li>・避難した場所に毛布や水がないと避難を呼びかける方としても責任が持てない。</li> </ul>
阿保委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災課と協議し、町会をまとめて連絡をもらうようにしている。</li> </ul>

<p>森山委員</p> <p>小川委員</p> <p>小林委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会ではともに助け合うということをあらゆる場所で話している。</li> <li>・自分の命が一番であるが、健康な人が寝たきりの方等に手を差し伸べるという考えをもっていかないといけないと感じる。</li> <li>・なかなか公助に持っていけないかもしれないが、自助しようとした時、どういうところに連絡をすればいいのかということを知っておくことが大切になる。</li> <li>・近隣の市町村とつながりを持ち、お互い助け合う形が作られればいいのではないかと思う。</li> <li>・新しい様式は大変分かりやすい、ただ対象を高齢者や障がい者を想定していると思うので、文字の大きさ等検討していただく必要がある。</li> <li>・モデル事業も素晴らしく、ケアマネや支援専門者がサポートすることにより広がっていくのではないかと想像できるが、支援がついていない方が最後に残されるので、難しい問題ではあるが今後の課題として検討していただきたい。</li> <li>・高齢者の居場所づくりを行っているが、そういった居場所自体を活用していただきたい。</li> <li>・総合社会資源を使った支援を行うが、地域の中には隣近所の付き合いで集まっているところもある、そういったところをぜひ活用していただきたい。</li> <li>・今後モデル事業を実施した成果や課題が見えてくると思うので、別の機会に報告したい。</li> <li>・令和7年度に向けて、特に優先度が高いとされている方については、できるだけ100%を目指し取り組んでいきたい。</li> </ul> <p>協議会の会議録を HP で公開することを説明。次回の開催は令和6年3月中旬とする。</p> <p style="text-align: center;">＜ 散会 ＞</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>傍聴者：報道機関 1名</p>